



令和6年度羽田中学校だより

# 天空の橋

令和6年9月13日

目指す生徒像・・・

Heart

Never Give Up

Do Our Best

大田区立羽田中学校

## 成長につながる2学期にしよう

台風の影響で、本日始業式ができるか心配していました。何とか予定通り、2学期を始めることができほっとしています。それとともに、今回の台風で被害に遭われた方に心よりお見舞いを申し上げますと共に、迅速な復旧がなされることをお祈りいたします。

さて皆さん、夏休みはどうだったでしょうか。中学生の夏休み、よい体験をいっぱいできたでしょうか。私は、夏休みが始まると同時に、大田区の中学生の海外派遣生徒と一緒に、アメリカのセーラムというところに行ってきました。2学期を始めるにあたり、アメリカに行って「いいなあ」と思い、皆さんの参考になることをお話しします。これから話すことは、アメリカ全体の文化ではないかもしれませんが。私が接したセーラムの方々から感じたことですが、気にせず話したいと思います。まず、一つ目にいいなあと思ったことは、「楽しみながら生活している」ことです。自分の興味や関心のあることを素直に肯定し、それを追究しています。日本だと、基本的に全ての教科ができるように学びます。それも大事だと思うのですが、興味に従って追究することで、深い学びにつながっており、ものすごい能力を発揮するようになっていきます。学校は、将来のために学ぶ場所ですが、これからの世の中はどうか予測がつかないところがあります。そのときに、教えられたことを学ぶだけでなく、自分で感心があること、必要なことを学ぶ姿勢は、これからの皆さんにとってとても重要です。よく考えてみれば、学校での勉強が苦手な人でも、興味のあることにはものすごく能力を発揮します。これは皆さんもそうだと思います。その際には、次のようにしたいものです。

### ① 中途半端ではなく、好きなことは他の人に負けなくらい追究する。

二つ目にいいなあと思ったことは、自分が好きなことを「他の人にも広げたい」と思っていることです。好きなことを追究するだけでは、人生を生きていくことはできません。でも、他の人のためになることまで広げれば、それは職業に広がります。ですから、好きなことの追究が、どういう形で人のためになるかを考えることが重要です。

### ② 好きなことの追究が、人のためになり、将来に結びつくかを考えよう。

それが夢と言われているものになります。

三つ目は、「他の人が面白い」と思っていることを「面白がってくれる」ということです。好きなことを周囲に話しても、周りが聞いてくれなければ話す気にはなれません。他人の興味に興味をもってくれる文化が、物事を深く追究し、それが広がる社会になるのだと思います。私は、生徒の皆さんに「自分たちの社会を自分たちでつくれるようにしてほしい」と話しています。そのために、いろいろなことを生徒で決めることを先生たちにも生徒の皆さんにもお願いしています。しかし、誰かが「話し合いたい」「重要だ」と思っていることが、他の人もそう思っているとは限りません。そのときに、自分には興味がないからと話し合いに参加しようとしないと、社会はうまく廻りません。自分にはものすごく興味がなくとも、他の人の関心にまずは耳を傾け考える姿勢は重要です。たとえば、学級レクを考えます。「あるレクレーションをしたい」と思っても、全員がそれにものすごく賛成でなくてもいいのです。でも、それに合わせて活動することは重要です。別の機会には、別の人の興味関心での活動をしていきます。そうでなければ、いつも多数決で一番多数の活動しか、なくなってしまう。他の人の興味に、興味をもつことは、多くの人を楽しみながら生活する社会につながるのです。

### ③ 他の人の興味関心に興味関心をもとう。それを大事にしよう。

今日から2学期が始まります。自分たちの興味を追究しつつ、みんなが楽しく、しかも自分たちでやりとげることができるような社会を、ぜひめざした2学期にしてください。それが自分の成長にもつながるはずです。